

令和7年度 第1回 経営協議会議事要録

- 1 日時 令和7年6月24日（火）14時25分から16時45分
- 2 場所 日亜会館会議室及びMicrosoft Teamsにて開催
- 3 出席者
（学外委員） 植田委員、梅田委員、北畑委員、後藤田委員、長岡委員、
結城委員、米田委員
（学内委員） 河村学長、河野理事、松木理事、藤本理事、田中理事、
香美理事
（陪 席） 鈴木理事、三好監事、井関監事、西良病院長
- 4 協議事項
 - (1) 令和6年度卒業者及び修了者の就職状況等について
河野理事から、協議事項1資料により、令和6年度卒業者及び修了者の就職状況等について説明があり、これを了承した。
 - (2) 令和7年度徳島大学入学試験実施状況及び入学者状況について
河野理事から、協議事項2資料により、令和7年度徳島大学入学試験実施状況及び入学者状況について説明があり、これを了承した。
 - (3) 令和6事業年度決算について
田中理事から、協議事項3資料により、令和6事業年度決算について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。

委員の主な意見は以下のとおり。

○運営費交付金の投入がなければ、大学全体の経営が成り立たないのが現実であり、課題でもある。特に最大の収益源となっている大学病院の今後をどう考えていくのか、運営費交付金の配分ルールを明らかにしつつ、検討いただきたい。

- (4) 令和6年度外部資金受入状況について
松木理事、田中理事及び藤本理事から、協議事項4資料により、令和6年度外部資金受入状況について説明があり、これを了承した。

委員の主な意見は以下のとおり。

○外部資金の獲得については、最終的には教員の努力にかかっていると思う。その努力を引き出すためには、やはりインセンティブの設計が極めて重要である。特に、民間企業からの共同研究や受託研究に伴う、間接経費は、教員への還元方法として柔軟に活用できると考える。こうした

間接経費の一部を研究費としてではなく、教員個人に還元することを検討してはどうかと思う。大学の財政や制度上の制約はあるかと思うが、こうした形で研究者に報いる仕組みがあってもよいのではないかと思う。

○大学でどのような研究が行われているのか、また、それらの研究が社会のどのような課題に資するものであるかといった情報を、積極的に対外的に発信していくことが重要だと思う。情報発信がなければ、外部の理解やマッチングも進まず、せっかくの研究が活用される機会を逃すことになる。今後、大学として研究成果や強みを社会に伝えていくための体制を整備・強化していただきたい。

- (5) 令和6年度資金運用実績について
田中理事から、協議事項5資料により、令和6年度資金運用実績について説明があり、これを了承した。
- (6) 令和8年度概算要求の概要について
田中理事から、協議事項6資料により、令和8年度概算要求の概要について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。
- (7) 国立大学法人ガバナンス・コードの適合状況について
田中理事から、協議事項7資料により、国立大学法人ガバナンス・コードの適合状況について説明があった。併せて、7月11日(金)を期日として各委員へ意見照会を行い、役員会審議を経て10月末日までに公表する旨説明があり、これを了承した。
- (8) 大学機関別認証評価における自己評価書(案)について
河野理事から、協議事項8資料により、大学機関別認証評価における自己評価書(案)について説明があり、原案のとおり承認した。
- (9) その他
・学長から、大学の近況報告があった。

次回の経営協議会は、令和7年11月に開催することとなった。

以上